



JAPANESE SCHOOL
OF MUMBAI

TEL 022-6694-0630
6 MAY/2025 NO2

「ムンバイ日本人楽幸！！」を合言葉に
笑顔あふれる楽しい幸せなムンバイ日本人学校

校長 佐藤 義朗

令和5年度より、本校では持続可能な世界を創る担い手を育てるため、ムンバイの地にある日本人のコミュニティスクールとして、保護者をはじめ周囲の方々との協働で教育活動を展開してきました。それは近年、戦争、自然災害、温暖化等世界で様々なことが起きており、それらに対して私たち人間が本気になって持続可能な世の中を目指し、その解決のためお互いの英知を結集して取り組んでいかなければならない時期にきているからです。子どもたちには世界で起こっている事象を他人ごとと捉えず、「自分たちに何ができるか？」を考えさせる教育活動を推進する必要があると思います。

教育には、二つの基本的な考え方（目標）があると考えます。

一つは、教育を受ける側のもって生まれた能力を最大限に引き出すこと。もう一つは、家族・社会・国民・地球市民として、その引き出された個性・能力を社会化し、世の中に貢献する人材を育成すること。

この二つのバランスをとりながら、インドで生活しているというメリットを生かし、知・徳・体の三つにわたって教育を行っていくことが大切です。そして二つ目の具体的な指針となるものが、SDGsの17の項目の目標であると考えます。

ムンバイ日本人学校では今年度も17の目標を教育活動とリンクさせ「持続可能な未来」にするために、教師も子どもたちも「SDGsの17の目標」を教育活動と関連させ価値づけを行いながら持続可能な社会の担い手を育てていきます。特にインドならではの貴重な体験、キャリア教育の充実、英語力の向上、体力向上、プログラミング的思考の育成、進路指導に重点を置いて取り組みます。人間が「笑顔で楽しい幸せ」と感じるのは、社会に貢献し、人のために役立ち、自己存在の意義を感じた時と考えます。このようにして、教育研究のテーマである「自分を見つめ、自らの成長に積極的にかかわろうとグローバルな人材の育成をめざして」の実現を図っていきます。





令和7年度ムンバイ日本人学校スタート!



新しい出会いとその喜びに満ち溢れた着任式、編入生歓迎会、始業式、入学式から1ヶ月。ムンバイ日本人学校では昨年、一昨年と新しいことにチャレンジし、授業や行事を通して子どもたちの成長を願い、取り組んできました。今年度もさらなるパワーアップを目指して進んでいきます。これまでの良さを残しつつ、皆様のご意見をいただきながらより充実した内容を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【新入生代表誓いの言葉より】(抜粋)

ぼくは、1年生になったら仲間を大切にしてお人の役に立ちたいです。勉強や運動も頑張ります。お兄さん、お姉さん、先生方にいろいろ教えてもらいたいです。よろしくお願いします。(小学部)

ムンバイ日本人学校での新しい学校生活が始まると少し緊張しますが、それ以上に楽しみで胸がいっぱいです。これから中学生として、文化や生活の違いを学びながら自分自身を高める努力を続けていきます。ムンバイ日本人学校での生活を大切に、より充実した毎日を送りたいと思っています。(中学部)



着任式 3名の先生を迎えました



小学部5名 中学部2名の新入生です



歓迎会では4名が新たに編入しました

避難訓練・テロ対応訓練を行いました

先月は避難訓練(火災想定)・テロ対応訓練を行いました。いずれの訓練も、子どもたちは真剣に取り組み、落ち着いて行動することができました。避難訓練では「おかしもち」の合言葉を守ってハンカチで口と鼻を押さえ、かがんで上手に避難することができました。そのあとの話では校長先生からは煙の怖さを、そして自宅の隣から火災が出た体験をした職員からも、その時の煙のすごさを聞きました。

テロ対応訓練では、日本国総領事館から甲谷領事にお越しいただき、貴重なお話を伺いました。テロリストたちに捕まってしまったらどうするか。そのときは抵抗せず、降伏をするということ、実際のポーズを教えてもらいました。相手の顔を見ないようにする。ズボンなどのポケットには手を入れない。手のひらを開いて相手に向けるなど、初めて見たポーズでしたが、説明を受けると、なるほど理にかなっていると感じました。



口と鼻をしっかり押さえ姿勢を低く



外へスムーズに避難できました



テロ対応訓練 降伏のポーズです